CASBEE-建築(新築)2024年版

倉庫

■使用評価マニュアル:CASBEE-建築(新築)2024年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

スコアシート　　実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						**2.9**
Q1 室内環境			-		-	**-**
1 音環境		-	-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル		-	-	-	-	
1.2 遮音		-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		-	-	-	-	
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		-	-	-	-	-
2.1 室温制御		-	-	-	-	
1 室温		-	-	-	-	
2 外皮性能		-	-	-	-	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		-	-	-	-	
2.3 空調方式		-	-	-	-	
3 光・視環境		-	-	-	-	-
3.1 昼光利用		-	-	-	-	
1 昼光率		-	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		-	-	-	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		-	-	-	-	
3.3 照度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		-	-	-	-	
4 空気質環境		-	-	-	-	-
4.1 発生源対策		-	-	-	-	
1 化学汚染物質		-	-	-	-	
4.2 換気		-	-	-	-	
1 換気量		-	-	-	-	
2 自然換気性能		-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		-	-	-	-	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO_2の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		—	0.43	-	-	**3.5**
1 機能性		-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-	
1 広さ感・景観		-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		-	-	-	-	
1.3 維持管理		-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		**3.5**	0.50	-	-	**3.5**
2.1 耐震・免震・制震・制振		**3.8**	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	25%増の耐震性を考慮した構造設計	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		**3.4**	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水・排水:B硬質塩化ビニル管　冷媒管:C冷媒用銅管	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		**3.0**	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3	**対応性・更新性**			**3.5**	0.50	-	-	**3.5**
	3.1 空間のゆとり			**4.6**	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	4.6m確保	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.12	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		ー	**3.0**	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			**3.2**	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	ー	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	ー	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	直天により仕上げ材を介さずに更新可能	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	ー	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	ー	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	ー	3.0	0.20	-	-	
Q3	**室外環境(敷地内)**			ー	**0.57**	-	-	**2.5**
1	**生物環境の保全と創出**		ー	**2.0**	0.30	-	-	**2.0**
2	**まちなみ・景観への配慮**		ー	**3.0**	0.40	-	-	**3.0**
3	**地域性・アメニティへの配慮**			**2.5**	0.30	-	-	**2.5**
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		ー	**3.0**	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		ー	**2.0**	0.50	-	-	
LR	**建築物の環境負荷低減性**				-		-	**3.1**
LR1	**エネルギー**			ー	**0.40**	-	-	**3.0**
1	**建物外皮の熱負荷抑制**		ー	**-**	-	-	-	-
2	**自然エネルギー利用(直接利用)**		ー	**3.0**	0.13	-	-	**3.0**
3	**設備システムの高効率化**		ー	**3.0**	0.63	-	-	**3.0**
	集合住宅以外の評価			3.0	-	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
4	**効率的運用に向けた取組み**			**3.0**	0.25	-	-	**3.0**
	集合住宅以外の評価			**3.0**	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	ー	3.0	0.44	-	-	
	4.2	運用管理体制	ー	3.0	0.44	-	-	
	4.3	非化石エネルギーの導入の拡大	ー	-	-	-	-	
	4.4	コミッショニングの推進	ー	3.0	0.11	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	ー	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	ー	-	-	-	-	
LR2	**資源・マテリアル**			ー	**0.30**	-	-	**3.4**
1	**水資源保護**			**3.4**	0.20	-	-	**3.4**
	1.1 節水		衛生器具は節水・省エネ機能付きのものを採用	**4.0**	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			**3.0**	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	ー	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	ー	3.0	0.30	-	-	
2	**非再生性資源の使用量削減**			**3.4**	0.60	-	-	**3.4**
	2.1 材料使用量の削減		ー	3.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		ー	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		ー	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ー	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		ー	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		軽量鉄骨下地+仕上げ材、内装材と設備の錯そうなし	5.0	0.22	-	-	
3	**汚染物質含有材料の使用回避**			**3.3**	0.20	-	-	**3.3**
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		サッシ・ガラス用シーリング材、塗床材など	**4.0**	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			**3.0**	0.70	-	-	
	1	消火剤	ー	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ー	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	ー	3.0	0.50	-	-	
LR3	**敷地外環境**			ー	**0.30**	-	-	**3.0**
1	**地球温暖化への配慮**		リサイクル材料の使用によるGHG排出量の低下	**3.6**	0.33	-	-	**3.6**
2	**地域環境への配慮**			**2.5**	0.33	-	-	**2.5**
	2.1 大気汚染防止		ー	**3.0**	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		ー	**2.0**	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			**3.0**	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	ー	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	ー	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	ー	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	ー	3.0	0.25	-	-	
3	**周辺環境への配慮**			**3.1**	0.33	-	-	**3.1**
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			**3.0**	0.40	-	-	
	1	騒音	ー	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	ー	-	-	-	-	
	3	悪臭	ー	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			**3.0**	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	ー	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	ー	-	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制	ー	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			**3.7**	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	LED照明の採用と使用目的が明確となっている。	4.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	ー	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2　サービス性能															
1.2.3 内装計画	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	–		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
1.3.2 維持管理用機能の確保	–		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
2.4.1 空調・換気設備	–		○	–	–	–	–								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	–	–	–	–	–						
2.4.3 電気設備	1.0	–	–	–	–	○	–	–							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	–	○	–	–	–							
Q3　室外環境(敷地内)															
1　生物資源の保全と創出	4.0		–	–	2.0	–	1.0	–	1.0	–	–	–	–		
2　まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	–	–	–	1.0	–							
3.1　地域性への配慮、快適性の向上	2.0		1.0	–	–	–	–	1.0	–	–					
3.2　敷地内温熱環境の向上	2.0		–	–	–	–	2.0	–	–	–	–				
LR1 エネルギー															
2　自然エネルギー利用(直接利用)	–		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
4.1.4 コミッショニングの推進	1.0		○	–	–	–	○								
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			–	–	–	–	–	–	–	–					
2.1　材料使用量の削減	1.0		–	1.0	–										
2.3　躯体材料におけるリサイクル材の使用			–	–	–	–	–								
2.6　部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	–	–									
3.1　有害物質を含まない材料の使用	3.0														
LR3 敷地外環境															
2.2　温熱環境悪化の改善	4.0		1.0	–	–	1.0	–	–	–	1.0	1.0	–			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		–	–	1.0	1.0	–	–							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	1.0	–		–	–						
3.2.2 砂塵の抑制	–		–	–											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											

主な指標

Q1　室内環境

2.1.3 外皮性能
窓システムSC –　窓の日射熱取得率(η) –
U値(W/m2K)　窓システム –　屋根 –　外壁 –　床 –
住戸部分　窓システムU値 –　外皮UA値 –　ηAC –　ηAH –

3.1.1 昼光率
昼光率 –

4.2.2 自然換気性能
自然換気有効開口面積率 –

Q2　サービス性能

1.1.1 広さ・収納性
執務スペース –　/人　病床 –　/床　シングル –　ツイン –

1.1.2 高度情報通信設備対応
コンセント容量 –　VA/㎡

1.2.1 広さ感・景観
天井高 –　m

1.2.2 リフレッシュスペース
リフレッシュスペース –　レストスペース –

2.2.1 躯体材料の耐用年数
想定耐用年数 –　年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔
想定必要間隔 –　年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔
想定必要間隔 –　年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔
想定必要間隔 –　年

3.1.1 階高のゆとり
階高　4.6　m

3.1.2 空間の形状・自由さ
壁長さ比率　0.1

3.2　荷重のゆとり
床荷重 –　N/m2

Q3　室外環境(敷地内)

1　生物資源の保全と創出
外構緑化指数 –　建物緑化指数 –

3.2　敷地内温熱環境の向上
空地率 –　水平投影面積率 –　地表面対策面積率 –　舗装面積率 –

LR1　エネルギー

1　建物外皮の熱負荷抑制
BPI/BPIm –　断熱等性能等級　対象外 相当

2　自然エネルギー利用(直接利用)
影響範囲の割合 –　採光を満たす教室数 –　採光を満たす住戸数 –
通風を満たす教室数 –　通風を満たす住戸数 –

3　設備システムの高効率化
太陽光 .0kW　太陽熱等 .0kW　蓄電池 .0kWh

非住宅部分
BEI/BEIm　再ｴﾈ有　0.60　無　0.60　ｵﾌｻｲﾄ再ｴﾈ有 –　–

集合住宅
一次エネ削減率　再ｴﾈ有　無　–

LR2　資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無
雨水利用率 –

2.4　躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
特定調達品目　再生クラッシャー:エコマーク商品 –　自治体指定の特定品目等 –

2.5　持続可能な森林から産出された木材
使用比率 –

3.2.1 消火剤
オゾン層破壊係数(ODP)　地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)
オゾン層破壊係数(ODP)　地球温暖化係数(GWP)

3.2.3 冷媒
オゾン層破壊係数(ODP)　地球温暖化係数(GWP)

LR3　敷地外環境

2.2　温熱環境悪化の改善
見付面積比 –　隣棟間隔指標Rw –
地表面対策面積率 –　屋根面対策面積率 –　外壁面対策面積率 –
見付面積Sb –　卓越風向と直交する最大敷地幅Ws – m　基準高さHb – m
緑地 –　水面 –　保水性対策面 –　高反射対策面 –　再帰性反射対策面 –